

佐野市集団接種会場 ワクチン管理、調製の手順【薬剤師用】

1.基本情報

(1) 集団接種開催日時

イオンタウン佐野（浅沼町） 土・日曜日（ワクチンの供給状況により平日も開催）
田沼中央公民館 日曜日

【受付時間】各日、各会場とも 午前 9：00～11：45 午後 1：30～4：15

(2) ワクチンの取り扱いについて

ファイザー・モデルナ共通

- 配給されたワクチンは、市役所内のディープフリーザーに保管。
- 集団接種前日までに、予約数に合わせたワクチンをディープフリーザーから市役所内の冷蔵庫に移して解凍。
- 集団接種当日、市役所冷蔵庫から保冷バックに入れて各会場へ移送し、各会場の冷蔵庫で保管。ただし、朝一番に使用するワクチンは、会場に到着してすぐに使用できるよう常温で移送。

(3) 事前準備

適正に希釈・充填等の調製作業を実施するために、ファイザー社やモデルナ社ホームページにある各種資料を熟知しておく。

	ファイザー社ワクチン	武田/モデルナ社ワクチン	
販売名	コミナティ筋注	スパイクボックス筋注	
ワクチンキャップの色	紫	赤	
生理食塩液による希釈	必要（1.8mL）	不要	
1回あたりの接種量	希釈後のものを0.3mL	1,2回目接種 0.5mL	3回目接種 0.25mL
採取回数	6回/バイアル (7回採取も使用可能)	10回/バイアル	15回以上 /バイアル ※穿刺は20回を超えない
トレイの 接種用シリンジ本数	6本	10本	8本
使用期限	希釈：2時間以内 希釈後：6時間以内 (遮光して2～30℃保存)	8～25℃/最長24時間 初回穿刺後：12時間未満 (遮光して2～25℃保存)	

2. 薬剤師の業務

(1) 1日のスケジュール

薬剤師の集合時間 受付開始の30分前（8:30 または 13:00）

時 間	業務内容	
8:30	13:00	薬剤師集合（ファイザー・モデルナ）
		出席薬剤師チェックリストの記載
		接種予約数、充填数、前時間帯からの引継ぎ数の確認
		調製作業に必要な希釈用生理食塩液（ファイザーのみ）、シリンジ、針、トレイ、アルコール綿等の資材が必要数用意されているかを複数名で確認
		シリンジ・針の組み立て
		「ワクチン原液」の引き渡し 数、冷蔵庫からの取出し時間、ロットナンバー等の確認後「ワクチン受領書」の記入 ※「ワクチン原液」の引き渡しについては、受付状況等により数回に分けて行う
		ワクチンの希釈（ファイザーのみ）・シリンジへの充填
		充填数の確認、トレイにシリンジをセット
		接種用シリンジをセットしたトレイをワクチン受け渡し机に陳列し払い出す
		ワクチン管理記録票（薬剤師用）の記入
9:00	13:30	ワクチン接種開始 以後、調製作業と払い出しを繰り返す ※引き渡しを受けたワクチンの調製作業終了後、市職員（接種室担当）に声をかけ、次の引き渡しを受ける
		使用後のトレイ、作業機の消毒
		次時間帯または翌日等に使用するシリンジと針をトレイに準備
		ワクチン管理者以外の薬剤師解散 ※不測の事態など急遽調製作業を依頼されることあり
		接種終了後、未使用シリンジの残数を確認 ・次時間帯への引継ぎシリンジ：トレイ毎管理し、付箋に使用期限・引継ぎ本数を記入し貼る
12:30	17:00	業務終了 ※終了時刻は接種者の数等により前後する

(2) 調製前準備

- ・手指を消毒薬で消毒した後に、手袋を装着する。
- ・「ワクチン原液」は冷蔵庫から取出したあと、遮光して室温下に置き、常温に戻す。

【目安時間】ファイザー：10分、モデルナ：15分

- ・シリンジと針の接続部分からの液漏れがないよう、組み立て作業を行う。

(3) 調製作業

- ・調製するワクチン数に合致した資材をトレイに用意する。

	ファイザー	モデルナ	
		1,2 回目接種	3 回目接種
1 トレイに 必要な物品	ワクチン 1 本 生理食塩液 1 本 希釈用シリンジ 1 本 希釈用注射針 1 本 接種用シリンジ 6 本 接種用注射針 6 本	ワクチン 1 本 接種用シリンジ 10 本 接種用注射針 10 本	ワクチン 1 本 接種用シリンジ 16 本 接種用注射針 16 本 ※充填後の接種用シリンジは 8 本でセットする

○吸引済（空）バイアルは、充填した接種用シリンジの状態をダブルチェックするとき
に確認し、空バイアル入れに入れる。

- ・ファイザーのワクチンは、室温に移したあと、希釈作業を2時間以内に終える。
- ・各工程が終了した時点で、その作業内容をダブルチェックし、次の作業に移る。ダブルチェックは調製者以外の薬剤師または市職員（接種室担当）が行う。

例)・希釈用生理食塩液（1.8mL）吸引後、ダブルチェックを受けてからバイアル内に注入する。

- ・充填した接種用シリンジの状態（量、色調、異物、エア）をダブルチェックしてからワクチン受け渡し机に陳列し払い出す。
- ・一連の調製作業は責任をもって行う。作業習熟性等により、一連の調製作業を複数人で分担して実施する場合は、各工程の作業を特定し、作業責任をあいまいにしない。
- ・調製作業を行っている薬剤師に声をかける行為は避ける。
- ・「コアリング」の発生を防止する。

(4) 調製終了後

- ・接種直前まで、接種用シリンジに充填したワクチンの品質を確保するため、保管場所の室温の定期的な確認を行う。
- ・充填したワクチンの遮光を確保する。アルミホイルを利用するため、シリンジが見えなくなることによる取り損ねが無いように陳列する。

(5) 同一会場で異なるロット番号のワクチンを使用する時の対応

- ・新たなロット番号の充填シリンジからは、色の異なるトレイを使用し、ワクチン受け渡し机に陳列する際も付箋をしてわかりやすくしておく。
- ・最初のロット番号の最終充填シリンジは、概ね同時に接種終了するようトレイに分ける。
- ・最初のロット番号のすべての充填シリンジを使用したことを接種ブースで市職員（接種室担当）とともに確認する。

(6) 調製事故等

- ・調製事故等（破損、液漏れ、希釈ミス等）が発生した場合、その都度市職員（接種室担当

者)へ報告する。

- 「ワクチン管理記録票」の備考欄に事由を記載する。
- バイアルを廃棄した（未開封及び開封はしたものの1回も接種をせずに廃棄した）場合は「佐野市の新型コロナワクチンの廃棄※に関する報告書」を作成し、市に提出する。

3. 関係・参考書式

(1) ワクチン受領書

- ファイザーワクチン受領書（集団接種用）
- モデルナワクチン受領書

(2) ワクチン管理記録票（薬剤使用）

(3) 佐野市の新型コロナワクチンの廃棄※に関する報告書

(4) ワクチンに異物の混入があった場合の対応

(5) 日本薬剤師会資料

- 「COVID-19ワクチンモデルナ筋注」調製時の注意点
- 「COVID-19ワクチンモデルナ筋注」調製時のチェックポイント（例）
- 「コミナティ筋注」調製時の留意点
- 「コミナティ筋注」調製時のチェックポイント（例）